

ぬち たから
命どう宝 ～戦後80年、なぜ沖縄へ～

キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和のために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。(コロサイの信徒への手紙 第3章15節 聖書協会共同訳)

主の平和がありますように

日本聖公会の各教区、また関連施設に連なる皆さま、いつも「沖縄週間」をお憶えくださり心より感謝いたします。本年も「沖縄週間／沖縄の旅」をご案内いたします。

第二次世界大戦の終結から80年を迎えました。この節目にあたり、まず日本聖公会がなぜ沖縄に目を向けてきたかを振り返りたいと思います。

沖縄は第二次世界大戦のちアメリカ合衆国の施政権下に置かれ、1972年に“本土復帰”を果たしました。教会(米国聖公会沖縄伝道教区)も、この年の1月1日に日本聖公会へ移管され、日本聖公会内では沖縄教区が歩んできた歴史を共有し、「ひとつの体」として「ともに苦しみ、ともに喜ぶ」(I コリ12:20-26)のために、沖縄教区を憶える代祷や献金が呼びかけられました。また実際に沖縄へ足を運ぶことも大切にされ、沖縄戦の癒えぬ傷跡と生活への影響、“本土”との様々な違いが日本聖公会内でも共有されることとなりました。そして1994年5月の日本聖公会総会において、下記の提案理由のもと、今日まで続く「沖縄週間」が初めて定められました。

「豊かな自然と独自の文化に恵まれた沖縄、第二次世界大戦における地上戦の経験、その後二七
年間に及ぶ米軍による統治、現在も叫び続けている多くの正義と平和の課題を、沖縄の現実に触
れることによって学び、沖縄教区の教役者・信徒と共に参加者がそれぞれの日常生活の中で信仰
の課題として担っていく契機とする。』『日本聖公会第46(定期)総会 決議録』

沖縄の歴史は、第二次世界大戦以前も外部からの介入によって節目を迎え、その都度、神さまによって与えられた多くの命が人の手によって奪われてきました。そして現在も広大な軍事基地により産業や都市計画が制限され、住環境は騒音や事故によって乱され、ジェンダーや人権に関わる社会的不平等も根強く横たわり続けています。「沖縄週間」の最初の設置から40年が過ぎた今も、残念ながらその課題が変わることがなく、軍事的には緊張が増している側面もあります。

移管当時からの信徒・真喜屋 明さん(島袋諸聖徒教会信徒・2024年ご逝去)は、2022年にオンラインで開催した「沖縄週間／沖縄の旅」のビデオメッセージの中で「沖縄のことを言うのであれば、まず沖縄に来てほしい。そして日本聖公会各教区の方々といっしょに陪餐できれば…」と語っておられました。

戦後80年を迎えた2025年、真喜屋さんの言葉と想いを念頭に置きつつこの旅の準備をすすめています。沖縄で起きていることが“本土”とどのような関わりがあるのか。またわたしたちの信仰の実をそれぞれの地でどのように開花させることができるのか。ご一緒に思い巡らせる旅になればと願っています。 主にあって

日本聖公会正義と平和委員会・沖縄プロジェクト担当:司祭 サムエル 小林 祐二

沖縄週間の祈り

歴史と生命の主である神よ、わたしたちを平和の器にしてください。

嘆きと苦しみのただ中にあなたの光を、

敵意と憎しみのただ中にあなたの愛と赦しをお与えください。

私たちの出会いを通して悲しみの中に慰めを、痛みの中にいやしを、

疑いの中にあなたへの信仰を、主よ、豊かに注ぎ込んでください。

この沖縄週間を通してわたしたちを新たにし、

あなたの示される解放と平和への道を歩む者としてください。

わたしたちの主イエス・キリストのいつくしみによって、

このお祈りをお献げいたします。アーメン

主催:日本聖公会沖縄教区・日本聖公会正義と平和委員会
戦後80年～神と人々と世界の声に耳を傾け、平和をつくりだそう!～

プログラム予定

6月20日(金):

那覇空港で集合し、バスで「道の駅かでな」(中頭郡嘉手納町)に向かいます。バス内にてオリエンテーション、ガイドを行い、道の駅から米軍・嘉手納基地を見学します。その後、メイン会場の三原聖ペテロ聖パウロ教会に移動して受付等を行い、夕の祈りをささげて1日目のプログラムを終えます。

6月21日(土):

三原聖ペテロ聖パウロ教会に集合して朝の祈りをささげ、バスでフィールドトリップ(平和祈念公園・資料館、糸数アブチラガマ)に出かけます。夕方教会へ戻り、振り返りの時間、夕の祈りを持ち、2日目を終えます。

6月22日(日):

三原聖ペテロ聖パウロ教会の主日聖餐式に参列します。その後、15時より同教会で予定されている「沖縄教区 慰霊の日礼拝」に参加します(礼拝は16時頃終了予定。その後沖縄教区企画のプログラムが17:00頃まで予定されています)。この慰霊の日礼拝をもって、今年のプログラムは終了となります。

日	1日目	2日目	3日目
時	6月20日(金)	21日(土)	22日(日)聖霊降臨後第2主日
		朝食 各自ホテル等にて	朝食 各自ホテル等にて
8:30		三原聖ペテロ聖パウロ教会集合、朝の祈り、出発 平和祈念公園・資料館	三原聖ペテロ聖パウロ教会集合 主日聖餐式
9:00			
10:00			
11:00			
12:30		昼食	自由時間
13:00	那覇空港集合～出発	移動	(各自で昼食・散策) *希望によりお弁当を用意します(別途実費)
14:00	道の駅かでな	糸数アブチラガマ見学	沖縄教区・慰霊の日礼拝 (三原聖ペテロ聖パウロ教会) 解散 (17:00まで沖縄教区のプログラムが行われる予定です)
15:00	出発	出発	
15:30			
16:00	三原聖ペテロ聖パウロ教会到着 自己紹介・夕の祈り	三原聖ペテロ聖パウロ教会到着、振り返り 夕の祈り	
17:30			
18:00	各自で夕食	各自で夕食	

※諸事情により変更となる場合があります。

参加のご案内

航空券・宿泊について

集合場所までの交通手段、期間中の宿泊、朝・夕食は参加者各位にてご用意いただきます。航空券と宿泊がセットになった「ホテルパック」や、LCC(ANAやJAL以外のローコストキャリア)をお使いになる等、ご相談いただければアドバイスいたします。

メイン会場・三原聖ペテロ聖パウロ教会の最寄駅は沖縄都市モノレール(ゆいレール)安里駅(那覇空港から所要時間25分程度)です。安里駅から教会までは徒歩15分ほどかかります。飛行機の遅延、手荷物の受け取り等を勘案し、プログラムに支障のないよう余裕をもって便をお選びください。最終日=22日の当日中にお帰りになりたい方は、17時30分以降の便をお選びください。

宿泊は2泊ともメイン会場の「三原聖ペテロ聖パウロ教会」(那覇市三原)に近い場所をお選びください。

- ◎ 以前は期間中の一泊を一括でスタッフが確保していましたが、現在は2泊3日の全宿泊をご自身でご用意いただいています。
- ◎ 宿泊には三原聖ペテロ聖パウロ教会会館(大部屋×2・各部屋4名まで。タオル等アメニティはありません)もご紹介することができます。

参加費用(概算)

・ 事務等経費・貸切バス等	17,000円
・ 2日目昼食(弁当・飲物)	1,000円
合計	18,000円(過不足調整あり)

※このほか下記については別途のご負担となります。

- ・ ご自宅と集合・解散場所間の交通費・2泊分の現地宿泊費
- ・ 朝・夕食・22日昼食(原則として教会外店舗・宿にて。必要に応じガイドします。)
- ・ メイン会場と宿間の交通費(モノレール・タクシー等3,000円程度)

- ◎ 不測の事態によってプログラムが開催できなくなった場合、また申し込みが早期に定員に達した場合等、既に取得された交通・宿泊予約のキャンセル料金が発生した場合には、各位においてご負担くださるようご理解をお願いいたします。

集合時間・場所 6月20日(金)13時・那覇空港 国内線1階到着ロビー

定員 30名(沖縄教区以外の方)

締め切り 5月31日

定員に達し次第締め切ります。また準備の都合上、締め切り後のお申し込みはお受けできません。

参加が確定された方には、詳細を記した「参加者ハンドブック」を送信・郵送します

オンライン中継・ダイジェスト動画について

本年はフィールドワークがメインとなるため、オンライン中継が非常に困難です。後日、旅のダイジェスト動画を作成する予定ですので、視聴を希望される方は沖縄プロジェクトまでメール(okinawa.project.nskk@gmail.com)にてお申し込みください。

申し込み方法

Webフォーム(<https://forms.gle/Ns6gabPcD6772Fru7>)から入力いただくか、別紙「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、下記までFAX送信または郵送ください。



申し込みフォーム QR

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545清里聖アンデレ教会
司祭 小林 祐二 宛
FAX 0551-48-3123

問い合わせ先

日本聖公会正義と平和委員会・沖縄プロジェクト 担当 司祭 小林 祐二
e-mail: okinawa.project.nskk@gmail.com
電話: 0551-48-2113(清里聖アンデレ教会)

スタッフ

- ・日本聖公会沖縄教区
司祭 金 汀洙(島袋諸聖徒教会)、司祭 岩佐 直人(三原聖ペテロ聖パウロ教会)、司祭 上原 成和(石垣キリスト教会)、執事 仲宗根 遼祐(小禄聖マタイ教会)、並里 厚(島袋諸聖徒教会)、上原 光来(教区事務所主事)
- ・日本聖公会正義と平和委員会・沖縄プロジェクト
司祭 柴本 孝夫(九州教区・福岡聖パウロ教会)、司祭 小林 祐二(横浜教区・清里聖アンデレ教会)、司祭 浪花 朋久(神戸教区・広島復活教会)、熊巳 由佳(京都教区)
- ・日本聖公会正義と平和委員長 主教 長谷川 清純(東北教区主教)
- ・日本聖公会沖縄教区主教 主教 上原 榮正(日本聖公会首座主教)